

Title	看護基礎教育における「ボディメカニクス」教育：腰痛予防に焦点をあてた現状と課題
Sub Title	Investigation of "body mechanics" in basic nursing education : current status and issues focused on the prevention of lower back pain
Author	小林, 良子(Kobayashi, Ryoko)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2019
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2018.)
JaLC DOI	
Abstract	看護師の5～8割が腰痛を経験しており、厚生労働省は2013年、19年ぶりに腰痛予防対策指針を改訂し、原則として人力による人の抱え上げは行わせないことを推奨している。諸外国では1990年前後から腰痛予防を法制化し、持ち上げない援助技術が主流となっているが、わが国ではリフター導入等に関しては環境的な問題もあり、主としてボディメカニクスを活用し、人の手で持ち上げる援助を行っている。こうした国の方針と現場の実態が看護基礎教育にどの程度反映されているのか。そこで本研究では、看護基礎教育における腰痛予防の必要性とその具体的援助方法の教授内容について、テキスト分析から明らかにすることを目的とした。 データは、看護基礎教育機関で採用されている主要出版社8社のテキストを用いて、①ボディメカニクスについて、②腰痛予防について、③2013年度改訂の腰痛予防対策指針について、の3つの視点で内容を抽出し、記載内容の比較、分析を行った。その結果、ボディメカニクスの定義と説明、物理学の原則、それらの看護援助における活用方法についての記載は共通していたが、2013年度改訂の腰痛予防対策指針の改定、腰痛予防の必要性、予防に必要な持ち上げない移動移乗動作（ノーリフト）について記載していたテキストは2社のみであった。そのうち、1社のテキストはボディメカニクスに関する限界の言及にとどまり、具体的なノーリフトの方法には触れていなかった。もう1社はノーリフトポリシーの概要や腰痛予防対策の必要性、具体的方法について記載があった。 以上、看護基礎教育において、ボディメカニクスの原理や必要生については教授されているが、ボディメカニクスのみでは腰痛予防に十分ではないこと、持ち上げない援助を取り入れていくことの必要性、その具体的方法については教授されているとは言えないことがわかった。 According to a survey, 50 to 80 percent of nurses have lower back pain in Japan. Ministry of Health, labor and welfare revised the guideline for the prevention of lower back pain in 2013 and recommend 'No-lifting transfer support'. The purpose of this study is to clarify the contents of basic nursing education in the textbooks regarding the lower back pain prevention and concrete transferring methods. Eight major textbooks were chosen and analyzed, focusing on 3 points of view; body mechanics, the prevention of lower back pain, and guidelines revised in 2013 on the lower back pain prevention. As a result, this analysis became clear that these textbooks describe the definition and principles of body mechanics as well as methods of transferring and lifting; however, merely 2 textbooks describe the necessity of lower back pain prevention and no lift supports. In conclusion, it is not often mentioned the necessity of the lower back pain prevention and concrete methods of no lift supports in the field of basic nursing education in Japan.
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2018000005-20180364

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	看護医療学部	職名	助教(有期)	補助額	300 (A) 千円
	氏名	小林 良子	氏名 (英語)	RYOKO KOBAYASHI		
研究課題 (日本語)						
看護基礎教育における「ボディメカニクス」教育:腰痛予防に焦点をあてた現状と課題						
研究課題 (英訳)						
Investigation of “Body Mechanics” in Basic Nursing Education —current status and issues focused on the prevention of lower back pain—						
1. 研究成果実績の概要						
看護師の 5～8 割が腰痛を経験しており、厚生労働省は 2013 年、19 年ぶりに腰痛予防対策指針を改訂し、原則として人力による人の抱え上げは行わないことを推奨している。諸外国では 1990 年前後から腰痛予防を法制化し、持ち上げない援助技術が主流となっているが、わが国ではリフター導入等に関しては環境的な問題もあり、主としてボディメカニクスを活用し、人の手で持ち上げる援助を行っている。こうした国の方針と現場の実態が看護基礎教育にどの程度反映されているのか。そこで本研究では、看護基礎教育における腰痛予防の必要性とその具体的援助方法の教授内容について、テキスト分析から明らかにすることを目的とした。 データは、看護基礎教育機関で採用されている主要出版社 8 社のテキストを用いて、①ボディメカニクスについて、②腰痛予防について、③2013 年度改訂の腰痛予防対策指針について、の 3 つの視点で内容を抽出し、記載内容の比較、分析を行った。その結果、ボディメカニクスの定義と説明、物理学的原則、それらの看護援助における活用方法についての記載は共通していたが、2013 年度改訂の腰痛予防対策指針の改定、腰痛予防の必要性、予防に必要な持ち上げない移動移乗動作(ノーリフト)について記載していたテキストは 2 社のみであった。そのうち、1 社のテキストはボディメカニクスに関する限界の言及にとどまり、具体的なノーリフトの方法には触れていなかった。もう 1 社はノーリフトポリシーの概要や腰痛予防対策の必要性、具体的方法について記載があった。 以上、看護基礎教育において、ボディメカニクスの原理や必要生については教授されているが、ボディメカニクスのみでは腰痛予防に十分ではないこと、持ち上げない援助を取り入れていくことの必要性、その具体的方法については教授されているとは言えないことがわかった。						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
According to a survey, 50 to 80 percent of nurses have lower back pain in Japan. Ministry of Health, labor and welfare revised the guideline for the prevention of lower back pain in 2013 and recommend ‘No-lifting transfer support’. The purpose of this study is to clarify the contents of basic nursing education in the textbooks regarding the lower back pain prevention and concrete transferring methods. Eight major textbooks were chosen and analyzed, focusing on 3 points of view; body mechanics, the prevention of lower back pain, and guidelines revised in 2013 on the lower back pain prevention. As a result, this analysis became clear that these textbooks describe the definition and principles of body mechanics as well as methods of transferring and lifting; however, merely 2 textbooks describe the necessity of lower back pain prevention and no lift supports. In conclusion, it is not often mentioned the necessity of the lower back pain prevention and concrete methods of no lift supports in the field of basic nursing education in Japan.						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			